

[課題]

第1回課題（1500字以上）

インターネット上に紹介されている公民科（「倫理」もしくは「政治経済」）の学習指導案の中で、優れていると感じた学習指導案を紹介し、どういう点が優れていると感じたかあなたの評価をのべなさい。

[本文]

私は現在、地歴科（地理採用）の現職教員として埼玉県立高校で働くものである。今年度より小規模校に勤務することとなり、公共の授業も担当できないと学年編成や時間割、持ち駒の調整が難しくなるとの話があり、一念発起して公民の免許取得に向けて勉強を始めたところである。

昨年までは地理のみを担当していたので、砂漠化や森林破壊などの地球環境問題、貧困や紛争などの社会問題も地理の授業だけで完結させていた。特に昨年度まで実施されていた旧課程では、地理を選択する生徒が少なかったため、他の教科目との連携を一切考慮してこなかった。しかし、一昨年度から新課程が始まって地理総合が全員必修の科目となった。また、新課程と同時に開設された公共、歴史総合の授業とオーバーラップする分野も増えてきた。前任校では総合的な探求の時間も「持続可能な開発目標（SDGs）」を意識した内容となり、いつまでも科目の殻に閉じこもっていられなくなった。同じSDGsをテーマにした授業でも、地理の授業では気候や海流、土壌、農業という点からアプローチできる。¹

他方、公共の授業では政府の役割や南北問題、国際協調体制という観点からアプローチできる。² 総合的な学習の時間ではグループワークやディベート、プレゼンテーションという対話形式の授業の枠組みが用意される。新学習指導要領においては、一つの科目だけで済ませようとするのではなく、横断的な学習スタイルを定着させていく必要がある。

そうした見地に立って、広島県立尾道特別支援学校の中村光則教諭の「高等学校公民学習指導案」を参考にしたい。中村教諭は冒頭の単元観の中で「授業展開の中で『地理B』の内容とも関連をもたせ、地域性を踏まえた考察を通して、世界的な視野からとらえた地球環境問題の望ましい解決策を考察させたい」としている。そして、指導観においては「『地理B』の内容を取り上げることで、生徒が多面的・多角的に地球環境問題をとらえることができるようにする」とある。政治・経済の授業の中で、自然地理学を扱う地理Bと関連性を持たせることは、実際には難しいことである。

授業展開（第1時）の「〈地理Bとの連携〉地球温暖化の影響を気候、地形、産業等の面から考察させる」の項において、中村氏は二酸化炭素の増加が地球環境や人間生活に及ぼす影響として「世界中の海水の熱膨張と極地方の氷河溶解により、海面上昇が起きて生活面積の縮小がおこる」と説明する。そして「気温上昇によって生態系が変化し、農作物の栽培種の変化や害虫の大量発生による凶作がおこる。また、気温変化によって各地域で異常気象（干ばつ、水害など）が発

生する」点にまで深掘りして、生徒の意見を引き出そうとしている。海面上昇による生活面積の縮小については、世界の多くの国で沿岸部に都市が集中している点と、河川の下流のデルタ地帯での土地利用に関する説明が必要となる。気温上昇による凶作は地理Bだけでなく生物分野の生態系やバイオームまで話を広げることができる。気温の変化による干ばつや水害についても、政治・経済の点だけでなく、気候区分や農業区分の視点で論じると非常に面白い内容である。実際にどこまで踏み込むことができるのか分からないが、地理Bの観点から踏み込んでいくことで、災害に強い都市のあり方やナイジェリアやブラジルでの首都移転の功罪、サヘル地区の砂漠化がもたらす政情不安など、生徒の興味・関心を大きく広げることができる可能性がある。

また、授業展開（第2時）の「東南アジアの森林伐採について、日本との関係から考察させる」の項において、中村氏は日本が大量に輸入しているエビの生産に着目し、生徒から「インドネシア・ベトナム・タイなどの東南アジア諸国のマングローブ林を伐採し、そこに作られたエビ養殖用の池で日本向けに養殖されている」点まで、生徒から引き出そうと計画している。マングローブ林の伐採は、沿岸部の汽水を好む貝類の生態系の破壊や珊瑚礁の減少、高潮被害の誘発を招いてしまう。エビの輸入を日本の産業や経済という点だけでなく、東南アジアの自然環境の考察にまで踏み込むことができ、中村氏が単元観に掲げている「多面的・多角的に地球環境問題をとらえること」を叶えることができる。

地理の教員である私にとって、次年度公共や政治経済を担当するのは不安でしかないが、地球環境問題や国政政治経済、貿易など、これまでの地理的思考を使うことで深い学びができるのであれば、少しは安心材料となるであろうか。

文字数：1928字

、＜参照学習指導案＞

広島県立尾道特別支援学校 教諭中村光則「高等学校公民科学習指導案」

<https://www.hiroshima-c.ed.jp/web/an/h/kou/kou-h-1901.pdf>（閲覧日 2024/04/18）

＜引用・参考文献＞

1 実教出版「地理総合 検討の観点と内容の特色・年間学習指導計画案・評価の観点」

2021/05/16 <https://www.jikkyo.co.jp/book/detail/22010022>（閲覧日 2024/04/18）

2 実教出版「公共 検討の観点と内容の特色・年間学習指導計画案・評価の観点」 2021/05/16

<https://www.jikkyo.co.jp/book/detail/22010722>（閲覧日 2024/04/18）